

小中学校の普通教室にエアコンの設置

○今まで暑さ対策として扇風機で対応していたが、温暖化による熱中症予防のため設置条件の整った学校から順に設置する。

○36校で561教室（平成30年5月1日現在）

○設置費用は約20億円 エアコン設置費 約14億円
変電設備 約5億円
調査・設計費等 約3千万円
電気配線工事・その他 約7千万円

○施工予定 2018年度 基本・実施設計
2019年度 一部の学校の設置、基本・実施設計
2020年度 全校設置



小中学校の温水プールでの水泳学習

○学校プールの老朽化により建て直しが必要になった学校から民間温水プール等の利用に移行する。なお、移動可能な範囲内に民間プール等がない場合は建て直しも検討する。

○小中学校34校（佐久島小中学校は対象外）

○メリット

- ・財政的にコスト削減できる。
1校当たり1年間で約320万円（A-B）の経費節減となる。
(老朽化により建て直した場合)

建設費が1校当たり約1億数千万円かかり、これに維持管理費を加えて耐用年数50年計算すると1校当たり平均年間で約660万円（A）かかる。
(民間温水プールを利用した場合)

プールの利用料や移動経費で年間約340万円（B）かかる。

- ・民間温水プールのインストラクターのアシスタント指導による水泳学習ができる。
- ・天候に左右されず計画的に水泳学習ができる。
- ・プール敷地が有効活用できる。



○デメリット ①・プールへの移動時間や移動手段が必要となる。

○現在ある温水プールは4か所であり、全校をカバーするのは難しい状況にある。
(ドルフィンスイミング、パルスイミング2か所、ホワイトウェイブ)

○移行順は、学校プールの老朽化順であり将来計画は現在検討中

○矢田小学校は、児童の増加によりプールを取り壊して校舎を増築するため31年度には民間温水プールへ移行する予定であり、その他には、花ノ木小学校と横須賀小学校を行して移行する予定で調整中

◆ 人を大切にするまちづくり ◆

西尾市議会議員

渡辺 信行

2019年新年号 発行人 渡辺信行後援会

市政レポート

T444-0701 西尾市東幡豆町中川原3番地
TEL 62-3217

★謹賀新年★



本年も皆様にとりまして幸多き年になりますようご祈念申し上げます。
平素より温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。引き続き、市民の皆様が、安全で安心して暮らせるまちづくり、そして西尾市の発展、活性化に努めてまいりますのでよろしくお願いします。

昨年も全国各地で甚大な災害が発生しました。7月豪雨、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨による被害、9月には台風21号や北海道胆振東部地震により被害が発生しました。幸いにして西尾市は近年、被災しておりませんが、近い将来予想されています南海トラフ巨大地震に備えて日々の防災・減災対策に努めたいものです。

災害を減らすことはできませんが、被害を減らすことはできますので各家庭での対策を願っています。

市政につきましては課題も多くありますが、前進する西尾市政になるよう議員活動を頑張ってまいりますのでよろしくお願い致します。



後援会長あいさつ

日頃より後援会にて理解並びにご支援を賜り心より感謝申し上げます。私は、渡辺市議と同年であります。若い内は健康が当たり前のように思えていましたが、歳を重ねるごとに健康が気になるようになりました。

初詣では一年の幸せを願いますが、それに加えて、無事に正月を迎えた感謝の気持ちを伝えています。多くの人に支えられて日々の生活ができると感謝しています。そして、私自身、健康でありますようにともに、眼科医として多くの患者と接する中で、皆様の健康の一助になればと思って日頃の診療に当たっています。

行政については、よく分かりませんが、まちづくりは市民の理解や協力が必要不可欠であると思います。市政について批判をするのではなく、共に考え参画する協働のまちづくりを推進したいものです。PFI事業など市政について色々な声を聞きますが、職員の皆様は市民のための市政運営に尽力してもらえるもの信じています。渡辺市議におきましても更なる活躍を期待しています。

市民の皆様には、渡辺信行後援会に、より一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

渡辺信行後援会 会長 黒部直樹（黒部眼科）

前途多難なPFI事業

- 公共施設再配置第1次プロジェクトは、平成28年6月に「(株)エリアプラン西尾(ＳＰC)」と214億6,981万320円で契約を締結しました。
 - ・新設(5施設)
 - ・改修(12施設)
 - ・解体(14施設)
 - ・運営(6施設)
 - ・維持管理(法定点検等)160施設
- 平成29年6月の市長選挙で中村市長が事業の凍結を公約としたため、当選後に、工事や設計等の中止をSPCに求めました。
- 平成30年3月に、市長が見直し方針を決定しました。中止とした事業は、竣工している改修事業と法定点検等維持管理の160施設を除いた事業全てであります。これにより新設施設の工事や設計等が途中で止まりました。
- 問題点として考えられること
 - ①契約を締結したSPCと協議が上手く進められていない。
 - ②見直し事業の内容や事業費が明確になっていない。
 - ③PFI事業の全体計画やスケジュール、事業費が明確になっていない。
 - ④見直し前と見直し後の費用の比較や見直し効果が明確になっていない。
 - ⑤市民の意見を聞くとされているが、見直し内容に疑問がある。
 - ⑥工事の中止により膨大な財政負担が予想される。など
- 8月6日にSPCが、事業の見直しに伴って発生した平成29年度中の増加費用約6,000万円を求めて名古屋地裁に提訴しました。市と協議したが見解の違いがあり提訴となりました。
- 9月18日に市民団体からの監査請求が出されました。内容は、市が十分な費用や効果の検証もしないまま無計画に事業を中止している、本来は必要でない経費が発生しているとしています。11月13日に監査結果が出されました。結論は棄却であります。監査委員の意見が事業の取り扱いを物語っています。意見とは、将来の西尾市を創り上げる対等な良きパートナーという目線に立ち、丁寧な対話と協議を重ねること、追加費用は貴重な税金であること、費用対効果を含めた計画をしっかりと明らかにすることを望むとされています。
- 議会対応としては、議員がそれぞれ一般質問や委員会などで論議しています。議員個々の思いや考えがありますので、市長の考えに賛成の人もいれば反対の人もいますが、論議を重ね、より良い方向に進めたいと思っています。見直し内容が適正であって、見直し効果があり、そして市民のための施設・効率的な運営になることを望んでいます。



台風による上屋のシートの破損と老朽化により閉鎖となった一色B&G海洋センタープール



閉鎖し放置状態の旧一色支所



老朽化が著しい対米市営住宅

新学校給食センターの建設

- 一色・吉良・幡豆地区の小学校11校と中学校3校、建設予定の特別支援学校に給食を供給
- 建設場所は西尾市須脇町地内
- 調理能力 最大で約7,000食
- 2018年度に基本設計、2019年度に実施設計と用地造成工事、2020年度に建設工事、2021年9月に供用開始



吉良学校給食センターの改修

- 一色・吉良・幡豆地区の保育園15園と西尾地区の公立幼稚園3園に給食を供給
- 場所は吉良町荻原下川田24
- 調理能力 最大で約2,600食
- 2018年度に基本設計、2020年度に実施設計、2021年度に改修工事、2022年4月に供用開始



期日前投票所の増設

- 平成31年2月3日に執行される愛知県知事選挙から吉良町に増設
- 場所は吉良保健センター(吉田小学校の隣)
- 投票日の8日前～投票日の前日の間で午前8時30分～午後8時



一般質問

平成30年は、3月議会、6月議会、12月議会で行っています。概略については「広報にしお」に掲載されましたし、詳細については「西尾市議会ホームページ」又は「渡辺信行ホームページ」に掲載しています。是非ご覧ください。

